

単元名 武道(相撲)

配当時間 10時間

- 単元の目標 (1) 技ができる楽しさや喜びを味わい、相撲の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解するとともに、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、押したり寄ったりするなどの簡易な攻防をすることができる。
- (2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) 相撲に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ったり、分担した役割を果たしたり、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしようとする。

標準的な展開例

13300122_001

【準備等】まわし、学習カード

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 相撲の特性について知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>★相撲の特性を知ろう。</p> <p>○相撲の歴史・礼儀・作法を知る。</p> <p>○まわしの付け方を知る。</p> <p>○グループ分けをする。</p> <p>2～3 基本動作の練習をする。</p> <p>★基本動作を身に付けよう。</p> <p>○蹲踞姿勢と塵浄水の練習をする。</p> <p>○四股、伸脚、腰割りの練習をする。</p> <p>○中腰の構えから運び足の練習をする。</p> <p>○調体と仕切りからの立ち合いの練習をする。</p> <p>○受け身の練習をする。</p> <p>4～6 押し、寄り、いなしの練習をする。</p> <p>★押し、寄り、いなしを身に付けよう。</p> <p>○押しの練習をする。</p> <p>○寄りの練習をする。</p> <p>○いなしの練習をする。</p> <p>7～8 投げ技の練習をする。</p> <p>★投げ技を身に付けよう。</p> <p>○出し投げの練習をする。</p> <p>○グループで協力し、投げ技の練習をする。</p> <p>9～10 簡単な試合をする。</p>	<p>・相撲は素手で相手と直接組み合っ、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開しながら、相手を崩して押ししたり、寄ったり、投げたりして勝敗を競い合う運動である。</p> <p>・相撲の始まりについて触れる。</p> <p>・伝統的な行動の仕方を確認する。</p> <p>・まわしの付け方を学習カードを利用して説明する。</p> <p>・4～5人編制のグループとし、単元を通して活動することを伝える。</p> <p>・蹲踞姿勢から塵浄水に入れるようにする。</p> <p>・四股の構えから、膝を伸ばして真横にゆっくり上げ、つま先から踏み降ろすようにさせる。</p> <p>・腰割りでは、四股の姿勢から両手で押すようにさせる。</p> <p>・中腰の構えからすり足で、かかとから小刻みに前進させる。</p> <p>・調体では、右手の肘を右体側に、右攻めの姿勢をとり、右手を突き上げながら、右足を踏み込ませる。(左も同様に行わせる。)</p> <p>・仕切りでは、四股の姿勢から腰を深くおろし両肘を膝頭に置かせる。</p> <p>・立ち合いでは、片方ずつ両手が着いたら立ち上がるようにさせる。</p> <p>・受け身では、頭が地面に触れないように手・肘・肩・背中の順に着かせる。</p> <p>【評】基本動作の練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・2人1組の対人で、中腰の構えや運び足を用いて押し、寄りの技ができるようにする。なお、段階的な指導の関連から「突き」は扱わないようにする。</p> <p>・押しは、相手の両脇の下を押し、擦り足で前に進むように練習させる。</p> <p>・寄りは、相手のまわしを取って、それを強く引きつけて体を密着させ、相手の重心をくずし、土俵の外に出すように練習させる。</p> <p>・いなしは、体を開いて押しを横にかわすように練習させる。</p> <p>【評】押し、寄り、いなしの練習を通して「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・2人1組の対人で、中腰の構えや運び足、受け身を用いて投げ技ができるようにする。</p> <p>・寄りから体を開き、側方に出すように投げさせる。</p> <p>・基本動作や基本となる技のポイントを確認させながら練習させ、出し投げの仕方のこつを見付けさせる。</p> <p>・気付いたことを学習カードに記入させる。</p> <p>【評】投げ技の練習を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】学習カードの記入を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

★基本となる技を積極的に活用しよう。

- ルールを確認する。
- 試合をする。

- 単元のまとめをする。

- ・グループ対抗で試合をさせる。
- ・仲間の試合を観察し、よいところを認め合ったり、助言し合ったりさせる。

【評】試合を通して、「知識・技能」を評価する。

【評】活動を振り返り、まとめをする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】単元全体の活動や試合で評価し合うを通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

相撲では、基本動作や基本となる技を確実に身に付け、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に対応した攻防ができるようにする。また、伝統的な行動の仕方を守ることなどに意欲をもち、健康や安全に気を配るとともに、礼に代表される伝統的な考え方を学ぶようにさせる。